



太極拳から広がる 草の根交流

かたわら、区から委嘱され、その中国人などと「日本語教え隊」という外国人児童に日本語の学習指導を行う活動のまとめ役として本語の学習指導を行ってきました。山本さん自身も近所の小学校に編入してきました中国人の小学生のお世話をしています。

今まで中国へは太極拳の稽古でしか行ったことがなかった山本さんですが、今年は2月に「江南」へ初めての観光旅行に行って来られたそうです。新しい中国の発見はあつたのでしょうか。（荒）

東京・江戸川支部中國語講座に在籍している山本忠明さんと中国の縁は「太極拳」。

本場中国で陳式太極拳の稽古がしたいと毎年のように単身で中国を訪れ、昨年も、河北省秦皇島市北戴河で

住まいのある地域で指導している太極拳教室も9年目に入りました。太極拳を学ぶため始めた中国語歴も5年。NHK中国語講座で学び始め、その後自

北野大氏（国際コミュニケーション学科）に在籍した経験をもとに、地域の社会活動として、日本語能力試験に挑戦する中国人留学生たちを指導。

本人は「定年後の暇つぶしに好きなことを自分のために始めたわけですが、相手を喜ばせたり迷惑がられたりしています。物事に取り組むと、たちまち中毒化してしまう性分は、変わらないようです」と楽しそうに語ります。



<777>

江戸川「日本語教え隊」

山本 忠明さん

宅近くで開講している江戸川支部中國語講座にも参加しています。

が、「子ども社会の中國語はやさしいものではありません」とのことです。